

【優秀賞】愛媛マンダリンパイレーツ賞

「あなたと私の性の違い」

今治市立大島中学校 2年 寺岡 心來璃

あなたは自分の考え方に縛られていませんか。自分とは違う、自分の性別がおかしいと感じたり、好きになる対象が周りとは違うことで苦しい思いをしている人のことを考えたりしたことはありますか。私は同性を好きになる人たちのことについて考えてみました。

私には、ある友達がいました。その子は、女の子で、誰にでも優しく平等に接していました。その女の子はネットで知り合った同い年の女の子でした。誰からも愛されるような性格をしていました。それなのに、なぜかその子は学校でいじめを受けていたのです。「物を投げられたり、暴言や悪口を言われたりがほぼ毎日のように続いている。苦しい、死にたい。」

と、学校から帰ると相談のメールが送られてきました。

ある時、その子が私に言いました。

「私ね、女の子のことが好きなんよ。」

私は、一瞬頭の中が真っ白になりました。何で私なんだろう、という思いもあれば、私と話している時にどんな気持ちだったのだろう、という思いもありました。

その子の話を聞いていると、ずっと前から私のことが好きだったことが分かりました。振り返ってみると、確かに「好き」だと頻繁に言ってくれていたような気がします。でも、学校が違っているし、会えることがほぼなかったので、私のことを諦めたのだと言っていました。

それから少しして、その子は同じ学校の女の子を好きになり、告白したそうです。しかし、気持ち悪いと言われ、その上、その女の子は告白されたことを周りに言ってしまったそうです。そのため、いじめにつながったのだと言っていました。

た。

話を聞いていて、私には思い出した言葉がありました。それは母が度々言っていた「女の子は女らしく、男の子は男らしく」という言葉。つまり、それは、女の子は男の子を好きになるのが普通で、男の子は女の子を好きになるのが普通だということになると思います。

私は、母の言葉を聞いて、おかしいなと感じたことがありました。周りが決めつけてしまって、個人の考えや思いを否定する。そして、それを他の人と共感して一人の人を追い詰めてしまう。そんな行為は最悪で、最低な行為であると思いました。そして、その最低な行為の標的となってしまったその女の子が可哀想でしかたがありませんでした。

しかし、もし自分と同じ学校に、同性のことを好きだと感じる友達が居たとしたら、他の友達と同じように接することができるでしょうか。私には同じようにできる自信はありません。ただ、自分の周りの友達が苦しんでいるのであれば、理解したいと思います。

私の友達は毎日辛い思いをし続けました。そして、心が苦しみと恐怖でいっぱいになったのでしょ。とうとう耐え切れず、自ら命を絶ってしまいました。最後に私に言ってくれた言葉は、「ありがとう、大好きだよ。」でした。その大好きにはどんな思いが込められていたのでしょうか。その子が亡くなってから三年たっても、私の心の中で問い続けています。

もう一度考えてみてください。あなたは自分の意見、考えに縛られていませんか。自分と全く同じ人は居ないということを理解していますか。

性別で人を判断していると、誰かを苦しめることになることがあるのかもしれないのです。傷つけられた心を完全に治すことは不可能だと思います。だから、人を傷つけないように気を配らないといけないのです。それは、誰にでもできるはずで。

今は、ジェンダーレスに取り組んでいる学校が多くあります。私の学校でも校則についての話し合いがされています。今まで考えなかった男女の違いについて考える機会も多くなってきています。無責任な言葉を人に対して放つことで奪ってしまう命があることを、一人だけでなく皆が理解し、その考えを広げていかなければならないのです。失った命はもう取り戻せません。物とは違い、修復することも新しい命を買う事もできません。

もう一度よく考えてみてください。一人一人が自分の考え方が周りの考え方と違っているからといって否定するのではなく、互いに認め合わなければなりません。そうすることで、皆が生きやすくなるはずです。

私は、その女の子のように苦しんでいる人を一人でも多く救いたいと考えています。なので、私はカウンセラーになりたいと思っています。様々な人に寄り添い、助けることができる人に私はなります。